

平成24年2月 全国百貨店売上高概況

平成24年3月19日

I. 概況

1. 売上高総額	4,331億円余
2. 前年同月比	-0.4% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	86社 253店 (平成24年1月対比-1店)
4. 総店舗面積	6,382,692㎡ (前年同月比:-0.4%)
5. 総従業員数	86,763人 (前年同月比:-6.1%)
6. 3か月移動平均値	7-9月 -1.2%、8-10月 -1.5%、9-11月 -1.6%、 10-12月 -0.4%、11-1月 -0.6%、12-2月 -0.1%

[参考] 平成23年2月の売上高増減率は0.7% (店舗数調整後)

【2月売上の特徴】

2か月連続の前年同月比マイナスだが、減少幅は-0.4%とほぼ前年並みに推移した。

2月は、1月と同様全国的に強い寒気の影響を受けて、冬物衣料や帽子・手袋等の防寒アイテムが好調に推移したものの、本格展開がスタートした春物商材には動きが見られなかった。また、雨や雪など天候不順と併せてインフルエンザの流行なども重なり、外出を控える傾向が強まったことから、入店客数にも若干の影響を受けた。

高級時計、宝飾品、輸入特選雑貨等の高額商材(美・宝・貴:+3.3%)が引き続き好調を維持したほか、季節催事のバレンタイン商戦(菓子:+2.6%)についても、絆消費を背景に活況を呈するなど、一部売上を牽引する要素は見られたものの、この時期主力の春物衣料の苦戦をカバーするまでには至らず、最終的に前年実績には僅かに届かなかった。

具体的な動向としては、復興需要で東北地区が好調(仙台:+7.5%、東北:+1.1%)を維持したこと、閏年による営業日数1日増の効果が祝日の1日減で薄れたこと、訪日外国人は春節の1月への移行による反動減(売上・購買客数共に:-41.5%)があったことなどが報告されている。

【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「2月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 西高東低の冬型の気圧配置となる日が多く、断続的に強い寒気の影響を受けて、1月に続き全国的に低温となった。また、日本海側を中心に記録的な積雪となったほか、太平洋側も低気圧や前線の影響で曇りや雨が多かった。

(2) 営業日数増減 28.7日 (前年同月比+1.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 8日 (" -1日/土曜と祝日が重複)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した: 40店、②変化なし: 33店、③減少した: 57店、④不明: 42店

(5) 2月歳時記 (バレンタインデー、節分、立春) の売上 (同上)

①増加した: 47店、②変化なし: 49店、③減少した: 12店、④不明: 64店

(6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)

①増加する: 66店、②変化なし: 42店、③減少する: 12店、④不明: 52店

全国百貨店 売上高速報 2012年02月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全国	433,108,118	100.0	-0.4 (0.0)
10都市	283,829,013	65.5	-0.3 (1.5)
札幌	10,779,133	2.5	-2.7
仙台	6,045,089	1.4	7.5
東京	106,506,903	24.6	-1.8 (-1.5)
横浜	24,900,604	5.7	2.6
名古屋	24,639,319	5.7	-1.5
京都	16,735,977	3.9	-0.9
大阪	57,826,771	13.4	2.2 (6.3)
神戸	12,347,826	2.9	3.0
広島	10,459,711	2.4	4.6
福岡	13,587,680	3.1	-10.2 (11.7)
10都市以外の地区	149,279,105	34.5	-0.6 (-2.9)
北海道	2,451,174	0.6	-9.8
東北	7,763,022	1.8	1.1 (-14.4)
関東	69,859,512	16.1	0.2 (-2.4)
中部	12,206,683	2.8	-3.8
近畿	15,159,200	3.5	0.5
中国	10,740,679	2.5	-2.2
四国	7,905,910	1.8	-0.3
九州	23,192,925	5.4	-0.7 (-2.2)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	433,108,118	100.0	-0.4 (0.0)
紳士服・洋品	26,783,948	6.2	2.4 (3.6)
婦人服・洋品	92,143,381	21.3	-1.6 (-1.5)
子供服・洋品	10,802,785	2.5	-1.8 (-1.4)
その他衣料品	11,046,894	2.6	-2.9 (-3.0)
衣 料 品	140,777,008	32.5	-1.0 (-0.7)
身のまわり品	50,456,149	11.6	-2.5 (-1.6)
化粧品	24,720,873	5.7	1.5 (1.9)
美術・宝飾・貴金属	18,939,095	4.4	3.3 (3.4)
その他雑貨	19,191,870	4.4	-4.4 (-4.4)
雑 貨	62,851,838	14.5	0.1 (0.3)
家具	5,866,801	1.4	-3.2 (-3.0)
家電	1,593,467	0.4	5.8 (5.8)
その他家庭用品	14,622,496	3.4	-4.5 (-4.8)
家 庭 用 品	22,082,764	5.1	-3.5 (-3.6)
生鮮食品	24,868,605	5.7	1.1 (0.8)
菓子	46,705,647	10.8	2.6 (3.7)
惣菜	26,071,567	6.0	5.5 (6.0)
その他食料品	32,425,679	7.5	-2.9 (-2.7)
食 料 品	130,071,498	30.0	1.4 (1.9)
食堂 喫茶	12,519,978	2.9	-0.9 (1.3)
サ ー ビ ス	4,942,005	1.1	2.5 (2.0)
そ の 他	9,406,878	2.2	-3.2 (-4.1)
商 品 券	11,595,829	2.7	-38.4 (-38.5)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	-0.3%	(店舗数調整後／2か月連続マイナス)
2. 10都市以外の地区売上動向	-0.6%	(" / 2か月連続マイナス)

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-0.3	-0.2	2か月連続マイナス
札幌	-2.7	-0.1	2か月ぶりマイナス
仙台	7.5	0.1	10か月連続プラス
東京	-1.8	-0.5	2か月連続マイナス
横浜	2.6	0.1	3か月連続プラス
名古屋	-1.5	-0.1	4か月連続マイナス
京都	-0.9	0.0	2か月連続マイナス
大阪	2.2	0.3	5か月連続プラス
神戸	3.0	0.1	2か月ぶりプラス
広島	4.6	0.1	2か月ぶりプラス
福岡	-10.2	-0.3	43か月連続マイナス
10都市以外の地区	-0.6	-0.2	2か月連続マイナス
北海道	-9.8	-0.1	16か月連続マイナス*
東北	1.1	0.0	5か月連続プラス*
関東	0.2	0.0	3か月連続プラス
中部	-3.8	-0.1	12か月連続マイナス
近畿	0.5	0.0	2か月ぶりプラス
中国	-2.2	-0.1	8か月連続マイナス*
四国	-0.3	0.0	4か月連続マイナス
九州	-0.7	0.0	7か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が4か月ぶり、食料品が8か月ぶりのプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、家庭用品。また、紳士服・洋品が3か月連続、美術・宝飾・貴金属が4か月連続、惣菜が10か月連続のプラス、化粧品、菓子が2か月ぶり、家電が3か月ぶり、生鮮食品が8か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.4	—	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	2.4	0.1	3か月連続プラス
婦人服・洋品	-1.6	-0.3	2か月連続マイナス
子供服・洋品	-1.8	0.0	3か月ぶりマイナス
その他衣料品	-2.9	-0.1	48か月連続マイナス
衣料品	-1.0	-0.3	2か月連続マイナス
身のまわり品	-2.5	-0.3	2か月連続マイナス
化粧品	1.5	0.1	2か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	3.3	0.1	4か月連続プラス*
その他雑貨	-4.4	-0.2	51か月連続マイナス*
雑貨	0.1	0.0	4か月ぶりプラス
家具	-3.2	0.0	7か月連続マイナス
家電	5.8	0.0	3か月ぶりプラス
その他家庭用品	-4.5	-0.2	7か月連続マイナス
家庭用品	-3.5	-0.2	7か月連続マイナス
生鮮食品	1.1	0.1	8か月ぶりプラス*
菓子	2.6	0.3	2か月ぶりプラス*
惣菜	5.5	0.3	10か月連続プラス*
その他食料品	-2.9	-0.2	4か月連続マイナス*
食料品	1.4	0.4	8か月ぶりプラス
食堂喫茶	-0.9	0.0	2か月連続マイナス
サービス	2.5	0.0	15か月ぶりプラス
その他	-3.2	-0.1	8か月連続マイナス
商品券	-38.4	-1.7	12か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>